

# COC Monthly News Letter

COC: Center of Community (地(知)の拠点)

Yamanashi Prefectural University

山梨県立大学の地域貢献活動を毎月1回お届けします。

2015年6月号

Vol. 13



グローバルな知の拠点となる大学  
 未来の実践的担い手を育てる大学  
 地域に開かれ地域と向き合う大学

## Topics 最新のニュース・話題など大学での出来事をお伝えします。

### ◇「平成26年度実績報告書」完成

平成26年度の12件のプロジェクトと3件の受託事業の報告書が完成しました。山梨県立大学ならではのシーズを最大限に活かし、地域課題に取組んだ実績を紹介しています。ぜひご覧ください。

### ◇平成27年度の地域志向教育研究プロジェクト12件を選定しました。

- ①地域産業活性化プロジェクト
- ②中心市街地における地域観光資源の発掘と情報発信の推進事業
  - ・甲府開府500年事業に連動した地域観光の企画実施およびその情報発信の推進事業
  - ・甲州夢小路を起点とした中心街活性化事業
  - ・甲府ヘリテージ発掘・活用プロジェクト
- ③地域の健康課題に基づいたPDCAサイクルによる保健医療計画の構築と保健活動の展開(サクセスフル・エイジングPJ)
  - ・地域の健康課題に基づいたPDCAサイクルによる保健医療計画の構築と保健活動の展開
  - ・高齢者の“サクセスフル・エイジング”実現に向けてのプログラム開発
- ④過疎・高齢化地域の中小規模病院における感染管理システム構築に関する研究
- ⑤“ふれあい重視”の在宅ケア・ネット構築プロジェクト
- ⑥国際交流活動を通じた地域資源の発掘と活用～富士川流域の食と文化
- ⑦大学が実践する妊娠・出産に向けた思春期からの健康教育事業
- ⑧学生出前授業プロジェクト
- ⑨大学を拠点とする子育て支援・幼児教育
- ⑩芸術活動による子育て支援・幼児教育への啓発
- ⑪がん予防とがんサバイバーのための癒しかフェプロジェクト
- ⑫市民後見人養成プログラムによる人材育成

## イベント情報 気になる話題の情報やためになる講習会や研修をご紹介します。

### ★観光講座2015「山梨の温故知新～自然と人の関係から探る～」

日本列島の中央部に位置する山梨県は、大都市東京の近くにありながら、富士山や南アルプスなど豊かな自然に恵まれ、この自然と共に暮らしてきた先祖からの生活・文化などにも、独特なものが今に伝えられています。山梨の自然と人とのかわりについて、歴史・科学的にその変遷を探る視点で、今回の講演を企画しました。山梨の魅力再発見の手助けになる情報を、この講演会で学んでみませんか。

日程：7月5日(日)、8月9日(日)、8月30日(日)、9月6日(日)、10月4日(日)

時間：13:00～16:30(受付開始12:30)

場所：山梨県立大学 飯田キャンパス講堂(B館) \*駐車場の利用可 \*参加料は無料です!

お問合せ先：山梨県立大学地域研究交流センター(学務課) TEL:055-224-5260 FAX:055-224-5386

MAIL:ucre-accept@yamanashi-ken.ac.jp

## 今月のプロジェクト 大学が自信を持っておすすめするプロジェクトのご案内。

### <学生出前授業プロジェクト>

大学生が地域の小学校に伺い、iPadの使い方を指導するプロジェクトです。これまで3年間で、4つの小学校（道志小、高根北小、竜王小、双葉東小）に伺わせて頂き、のべ24クラスで授業を行ってきました。

2012年度から総務省情報通信研究開発推進事業（SCOPE）の研究で、iPadを使った協調学習システム(edutab)の研究開発を行ってきました。このシステムを地域の公立小学校で利用していただくのに際して、まずiPadの使い方を子どもたちに知ってもらう必要が出てきました。そこで、その役割を大学生に行ってもらおうと考えたのがきっかけでした。

現在、国際コミュニケーション学科の学生と人間形成学科の学生がこのプロジェクトに参加しています。国際コミュニケーション学科の学生にとっては、コミュニケーション技術を学ぶ場となり、人間形成学科の学生にとっては、小学校教員養成課程の教育技術を学ぶ場となっています。両学科の学生とも実際に小学生に教えることの難しさを学ぶとともに、小学生が成長し、喜んでくれる姿を見ることで達成感の持てる活動となっています。

プロジェクトでは、まず小学校に伺い、教室の状況や担任の先生に児童の様子などをインタビューさせていただき調査活動を行います。次にその調査活動に基づいて指導案を作成します。この指導案は担任の先生にも事前に見て頂き調整を行います。そして、当日、学生が45分2コマの時間を使ってプレゼンテーションアプリ(keynote)と動画編集アプリ(iMovie)の使い方を教えます。学生は10名位がクラスに入りますので、短い時間ですが、児童はkeynoteとiMovieでそれぞれ作品を完成させることができます。担任の先生には授業中に児童の様子や学生の様子を見て頂き、評価をいただくようにしています。また、児童にもアンケートを書いてもらい、評価してもらっています。これらの評価結果をもとに学生は自己評価を行い、活動全体を活動記録(ポートフォリオ)にまとめるようにしています。

活動は順調に進み、年々多くの学校へ伺えるようになってきました。今後は教えられる内容も増やしていきたいと考えています。

## 担当教員紹介 個性派揃いの優秀な教員の意外な素顔を紹介します。



左から2人目が八代一浩教授

### <国際政策学部国際コミュニケーション学科 教授 八代一浩>

山梨生まれの山梨育ちです。この前、半世紀も山梨にいることに気づきました。研究は細かく分類するとインターネットの運用技術や教育工学という分野が中心になりますが、学部の中では情報コミュニケーションという広い分野で教育や研究を行っています。

研究では、現在、edutab boxというシステムを開発しています。このシステムは学校の普通教室でiPadを使った協調学習とその学習記録を残すためのシステムです。これ一台で無線LAN環境やネットワークサーバの機能を持っているので、どのような場所でも複数のiPadを接続した授業活動を行うことができます。このシステムは現在、山梨県内の8校の小中高校に貸し出しを行い、新しい授業方法の開発をさせていただいております。また、山梨県総合教育センターの協力も得て、地域と一体となって研究を進めています。詳しくは下記ページをご覧ください。(http://www2.yamanashi-ken.ac.jp/~kaz/)

編集後記

クールビズが始まり、ビアガーデンも開業し、街は初夏の様相となってきました。これから梅雨の時期に入りますが、日本では四季を感じる事の出来るのが、改めて素晴らしいとこの頃思うようになりました。南北に長い日本列島、自然の中に飛び出して季節感を思いきり味わいたいものですね。 MIKA

編集発行: 公立大学法人 山梨県立大学 地域戦略総合センター

〒400-0035 山梨県甲府市飯田5-11-1 TEL:055-225-5412 FAX:055-225-1150

ポータルサイトURL <http://region.yamanashi-ken.ac.jp/>

購読申し込みURL <http://region.yamanashi-ken.ac.jp/newsletter>

文部科学省

地(知)の拠点



山梨県立大学  
Yamanashi University